

# プレカット特集

プレカット業界を取り巻く環境は、住宅市場が縮小していくなかで激しい競争が続いていくことが見込まれる。そのなかでプレカット業界が期待を寄せる分野が、**非住宅の木造建築物**だ。

公共建築物等木材利用促進法が施行され、木造建築を公共が主導し、民間に波及することが期待されている。実際にプレカット工場

## 非住宅へ期待高まる

### 新たな需要分野として

期がずれたりすると他の加工工程に影響を及ぼすことや、地域材などを指定された場合の材料調達も難しいものだ。これをプレカット工場間の連携で加工量を調整し、融通

には、**老人福祉施設や集会场、幼稚園、保育園などの非住宅物件**が増えてきている。1棟当たりの規模は、住宅の10棟分にも相当するものも

珍しくなく、材料調達、CAD、加工など様々なところでいう動きや、トラスや方

し合うことで対応力を高めようという動きや、トラスや方杖などを使い、大空間を既製品サイズの木材で対応する提案を行うところもある。

住宅と大規模木造建築の中間的な規模の木造建築の需要が台頭することが見込まれ、この分野をどの業種が担っていくのか。木造住宅に係る業種がうまくこの分野へ参入し、**住宅部材を活用して建築コストを抑えて建築できれば、需要はさらに拡大するだろう。**

また、**職人不足が深刻化していくなかで、木造住宅のパネル化に対する取り組みが活発化してきた。**プレカットCADのデータを活用してパネルを製作できることで、プレカット工場の新たな事業分野としての可能性がある。これまでパネルは住宅会社の仕様にに基づき、それぞれの会社が独自仕様でパネル工場に作らせていた。これが、パネルをクロスな仕組みで供給されることになり、また製作はCAD/CAM対応の自動化が難しく、手作業が基本だった。金物工法や集成平角の普及により、梁せいを統一してパネルの高さを一定にするなど、次第に標準化への方向も高まっている。その延長ともいえるのが、サイディングのプレカットだ。躯体精度が高まっていることがサイディングプレカットにつながっている。

# 設計サポートを推進

## 非住宅建築の開拓も

### ネットイーグル

ネットイーグル（福）的需要が堅調な今のう  
岡市、祖父江久好社 ちに準備しないと、環  
長）は、消費税の引き 境変化に取り残され  
上げが予定される20 る」と指摘する。

15年以降の需要収縮 15年以降は消費税の  
局面を見据え、プレカ 駆け込み需要の反動だ  
ット工場に長期優良住 けでなく、世帯数のピ  
宅の設計サポートと、 ークアウトで住宅市場  
介護施設や保育所など の縮小は加速度的に進  
非住宅分野の需要開拓 む。大手住宅会社が長  
を呼び掛けている。競 期優良住宅を標準化し  
争が激化する住宅市場 つつあるなか、中小の  
では長期への対応が不 工務店が生き残れるか  
可欠となる一方、介護 どうかは長期への対応  
施設など非住宅分野は 次第。設計サポートは  
今後の市場拡大が予想 伏図を確定するプレカ  
されるため、「比較 ット工場が手掛けるの

が最も合理的で、4号  
特例の見直しの際に取り  
組んだ建築士事務所  
登録を生かせば、プレ  
カット工場にとっても  
競争力になる。

一方、15年以降は団  
塊世代が65歳以上の高  
齢者となり、高齢者人  
口は300万人を超え  
る。要介護発生率が高  
くなる75歳以上の後期  
高齢者人口は25年まで  
に急増するため、介護  
施設の建設は今後一段  
と活発化が予想され  
る。特に民間が建てる  
サーピス付き高齢者住  
宅は政府の財政支援も  
あつて高い伸びが見込  
まれており、木造での  
需要開拓が期待されて  
いる。